

キャリア進路通信

令和7年4月9日 第1号
佐世保市立鹿町中学校
進路担当

校訓：磨きあえ心 学びあえ知 鍛えあえ体

進路とは

進路とは、「進む路(みち)」と書きます。「どこへ進む路(みち)か」といえば、将来の自分の夢につながる路(みち)です。

路は1本ではなく、何本もあります。しかし、進める路は1本だけです。その路へ進むには扉を開かなければいけません。そして、その扉は自動ドアではなく、自分の力で押し開けなければいけません。ひょっとすると自分が進みたいと思う路への扉は大きく、分厚く重い扉かもしれません。

心配はいりません。夢には力があります。どんな扉であっても、その向こうには夢への路が待っています。これから精一杯の努力を積み重ね、中学校卒業後には、一人ひとりが見事に「夢への扉」を押し開けられることを願っています。

「進路」とは人の「生き方」であり、毎日の生活の延長線上にある。

「進路」とは高校や就職先を決めることではありません。人が夢の現実のために、どんな生き方をするのかを考えることであり、実際に行動することです。それは、毎日の生活の延長線上にあります。進路はある日突然決まったり、目の前に開けたりするものではありません。夢の実現のために、今を精一杯生活することが進路を切り開く力になります。また、機会をとらえて「生き方」について調べたり考えたり、家族や仲間と話し合うことではっきりしてくるものです。例えば、三者面談や高校説明会、高校のパンフレットや高校のオープンスクールがあります。この進路通信も1つの「機会」にしてください。「知ること」や「話題にすること」で進路について視野や考え方を広げる時期です。多くの機会をもってください。

それではまず、次の2つのことを大切にしてください。

1つは、**こつこつと努力を重ねること**です。宿題や予習以外の自主学習を家庭でするとき、1日1時間で1年間およそ350時間。5教科で割れば、1教科70時間しかできません。この時間は決して多くありません。しかし、宿題や予習以外に1時間の「自主学習」ができていない人が多いのも事実です。家庭での時間の使い方をふり返り、こつこつと努力を積み重ねる時間をつくりたいものです。

2つ目は、**毎日続けるということ**です。努力を続けられることは立派な才能です。社会に出たとき、「時間を守る」ことが何よりも大切であり、休まない・さぼらないことは他からの「信用・信頼」につながります。続けることは信用・信頼だけでなく、「自信」につながります。

進路選択は将来の生き方を考えることから始まります。

★**考えよう** → あなたの将来の夢は何ですか。 どんな生き方をしたいと思っていますか。

★**調べよう** → 世の中にはどんな仕事があるのか、その仕事に就くために必要な資格について調べてみましょう。

★**知ろう** → 何よりも大切なのは、自分がどんな人間なのかを知ることです。

自分自身をしっかり見つめ直して自分を知り社会を知り、自分を生かす道を考えましょう。

進路に関する1年間の流れ(予定)

| 月 | 1年 | 2年 | 3年 |
|----|-----------------|-----------------|---|
| 4 | ○課題テスト(国、数) | ○県学力調査(国、数) | ○全国学力調査(国、数、理) ○県学力調査(英) |
| 5 | | | ○実力テスト |
| 6 | ○第1回定期テスト | ○第1回定期テスト | ○第1回定期テスト ○第1回進路希望調査 |
| 7 | ○三者面談 | ○三者面談 | ○三者面談 ○オープンスクール |
| 8 | ○三者面談 ○実力テスト | ○三者面談 ○実力テスト | ○三者面談 ○オープンスクール ○実力テスト |
| 9 | | ○職場体験学習 | ○第2回進路希望調査 ○入試実施要項説明会 ○国立高専「DIGI+特別選抜」 |
| 10 | | | ○実力テスト ○三者面談 |
| 11 | ○第2回定期テスト | ○第2回定期テスト | ○三者面談 ○第2回定期テスト ○第3回進路希望調査 |
| 12 | | | ○国立高専「推薦選抜」 |
| 1 | ○実力テスト | ○実力テスト | ○実力テスト ○私立高校入試 ○公立「特別選抜」 |
| 2 | ○第3回定期テスト | ○第3回定期テスト | ○公立「一般選抜」・「I期選抜」 ○国立高専「学力選抜」 ○私立入試 |
| 3 | ○修了式 | ○修了式 | ○公立「チャレンジ選抜」・「II期選抜」 ○卒業式 |

説明会・オープンスクールに参加しよう!

各高校では説明会やオープンスクールが実施されます。実際に高校へ足を運んで見学をしたり、授業を体験したりすることによって、学校の様子をより深く理解することができます。志望校を決定するにあたって、大変役に立つと思います。

3年生の参加が主になると思いますが、1・2年生の参加が可能な高校もあります。各高校から案内が届いた時点で随時お知らせします。参加を希望する生徒は申込用紙に記入をして、必ず校内締切日までに担任の先生へ提出してください。締切日を過ぎてしまうと参加することができないことがありますので、気をつけてください。